

カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

| | | |
|--------------------|------------------|-------------------------|
| B. 組織マネジメント | リスクマネジメント | 災害時のリスク管理と事業継続計画 |
|--------------------|------------------|-------------------------|

| | |
|---------|--|
| コースのねらい | 災害は突発的に発生するため、緊急時の対応力が求められるが、想定通りに発生するはずもなく緊急時の対応・判断は難しい状況がある。そうした状況が発生した際にも復旧の遅れや自社のサービスが供給できないことによる顧客離れを防ぎ、事業への被害を最小限に抑えるためのリスク管理と事業継続計画に関する知識を習得する。 |
|---------|--|

| 講義内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間 (H) |
|------|-------------------|---|-------------|
| | 1 災害におけるリスクマネジメント | (0) 基本的な用語の解説 ・「事業継続計画(BCP)」とは何か？ ・企業の災害対策に対する BCP の位置づけ (1) 企業における災害対策の基礎 ・「災害」とは何か？どのような災害に備えるべきか？ ・災害に関する情報の入手方法 ・災害対策に関する企業の責任 (2) リスクマネジメントの基礎【演習あり】 ・「リスク」とは何か？ ・「リスクマネジメント」とは何か？「危機管理」とはどう違うのか？ ・企業におけるリスクマネジメントの進め方 ・災害リスクに対する基本的な考え方 (3) 事業継続マネジメント(BCM)の基礎 ・BCM の全体像 ・企業が BCM に取り組む意味 ・経営層が果たすべき役割 | 1.8 |
| | 2 事業継続計画の策定 | (1) 事業継続方針の明確化 ・BCPに取り組む目的 ・自社の BCP で考慮すべきステークホルダー ・BCP の対象範囲 (2) 事業影響度分析とリスクアセスメント【演習あり】 ・優先的に再開／復旧させるべき製品・サービスの特定 ・目標復旧時間の設定 ・製品・サービスを提供するためのプロセスの特定 ・製品・サービスの提供に必要な資源の特定 ・リスクアセスメント (3) 事業継続戦略 ・事業継続を実現するための選択肢 ・BCP 以外の方法による事業継続 (4) 事業継続計画の文書化 ・BCP の文書構成 ・BCP に含むべき内容と文書化のポイント ・BCP の限界 (5) 緊急事態対応体制の設計と運用 ・緊急事態対応における原則 ・緊急事態対応のための組織体制 ・活動における必須項目と平常時の準備 | 2.7 |
| | 3 事業継続計画の周知と改善 | (1) 災害対策や BCP に関する教育訓練 ・「訓練」と「演習」との違い ・企業において必要となる教育訓練 ・教材や関連情報の入手方法 (2) 演習の企画と実施【演習あり】 ・演習の目的と手法 ・机上演習の実施方法とポイント ・演習プログラム (3) BCP の改善と平常時のマネジメント活動 ・BCP の何を改善するのか？ ・BCP を中心とした平常時のマネジメント活動 | 1.5 |
| | | 合計時間 | 6.0 |